資料3- 3

弟子屈町の温泉熱利用の取り組み

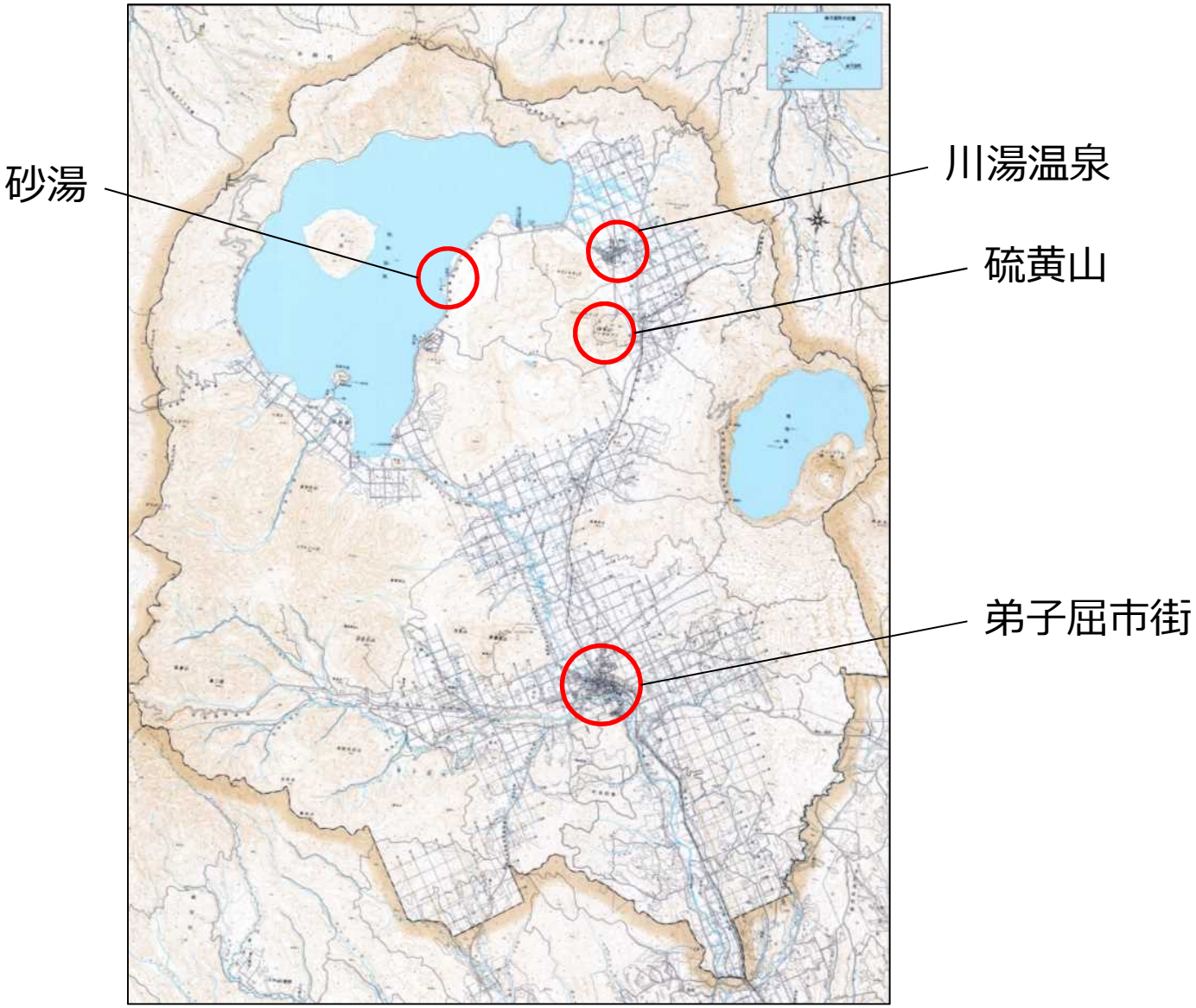
北海道川上郡弟子屈町観光商工課
浜崎　浩一

弟子屈町の紹介

行政面積の65%を占める

阿寒摩周国立公園

- ひがし北海道の中心位置
- 総面積　774．53km
- 年間平均気温　4．9℃
- 人口　7，028人（R2年3月末）
- 高齢化率　40．2%


砂湯
川湯温泉
硫黄山
弟子屈市街

弟子屈町での温泉熱利用

〇昭和50年代から町・民間で給湯事業が行われ、浴用利用だけでなく暖房の熱源としても利用される。

・温泉暖房の主な施設

弟子屈町役場庁舎、弟子屈警察署、道の駅「摩周温泉」
ＪＲ摩周駅、釧路信用金庫弟子屈支店

弟子屈町での温泉熱利用

〇平成に入り、農業分野（ハウス栽培）における熱源や再生可能エネルギーとして注目され、多くの民間事業者から問い合わせや事業提案される機会が増加し、地熱を地域の資源として活用の検討を開始。

・地熱発電の導入や企業誘致の材料としての活用

ファーム・ピープル

オリエンタルランド弟子屈農園

弟子屈町での温泉熱利用

・地熱を利用した農産品の特産品化

【摩周湖の夕日】

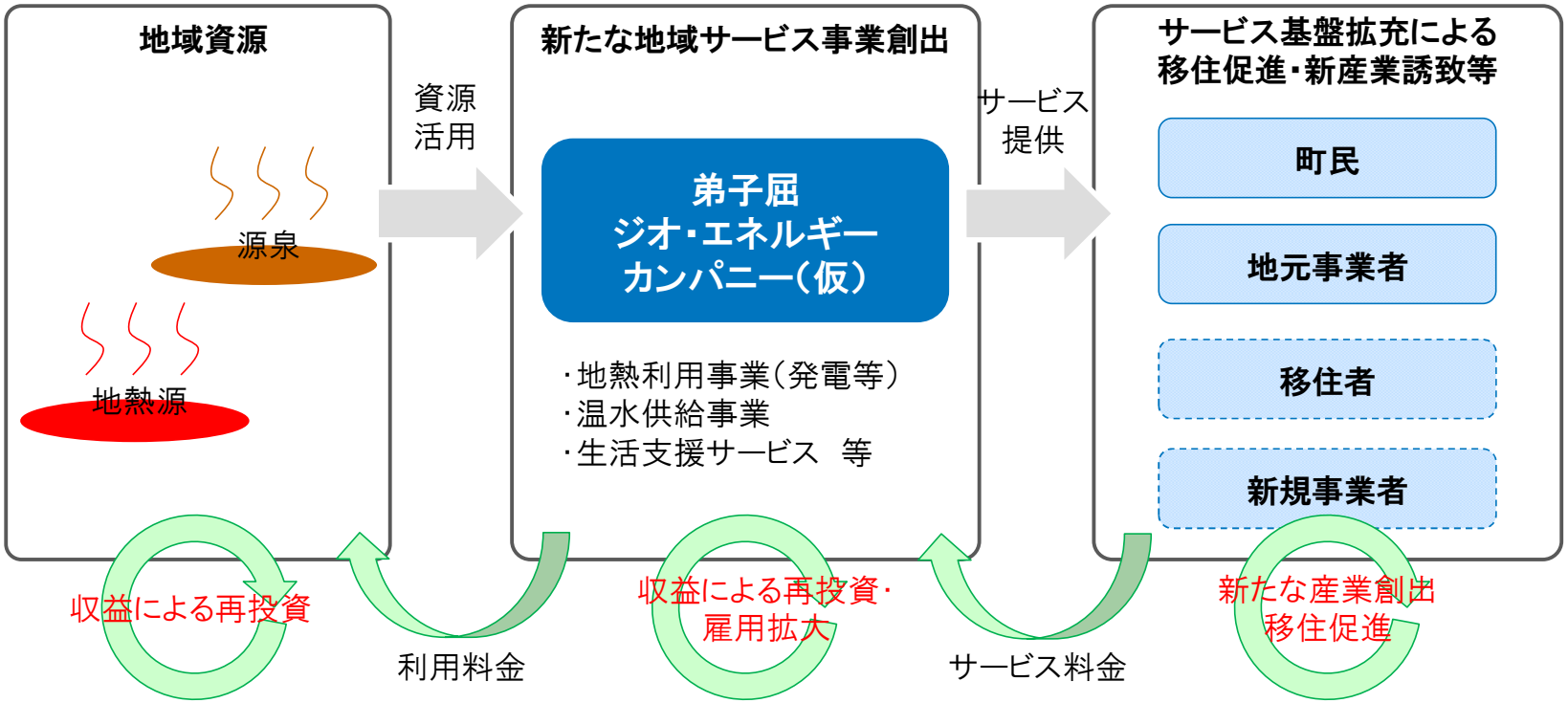
【摩周ルビー】

Mashu Ruby
てしかが
摩周ルビー

【摩周ルビー(町外商品)】

弟子屈町での温泉熱利用

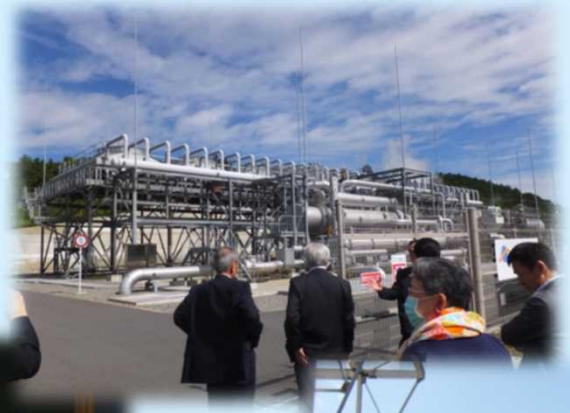
平成28年度
総務省委託事業分散型エネルギーインフラプロジェクト(マスタープラン策定事業)を活用し、『地熱資源を活用した「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」マスタープラン』を策定。



目指す将来像

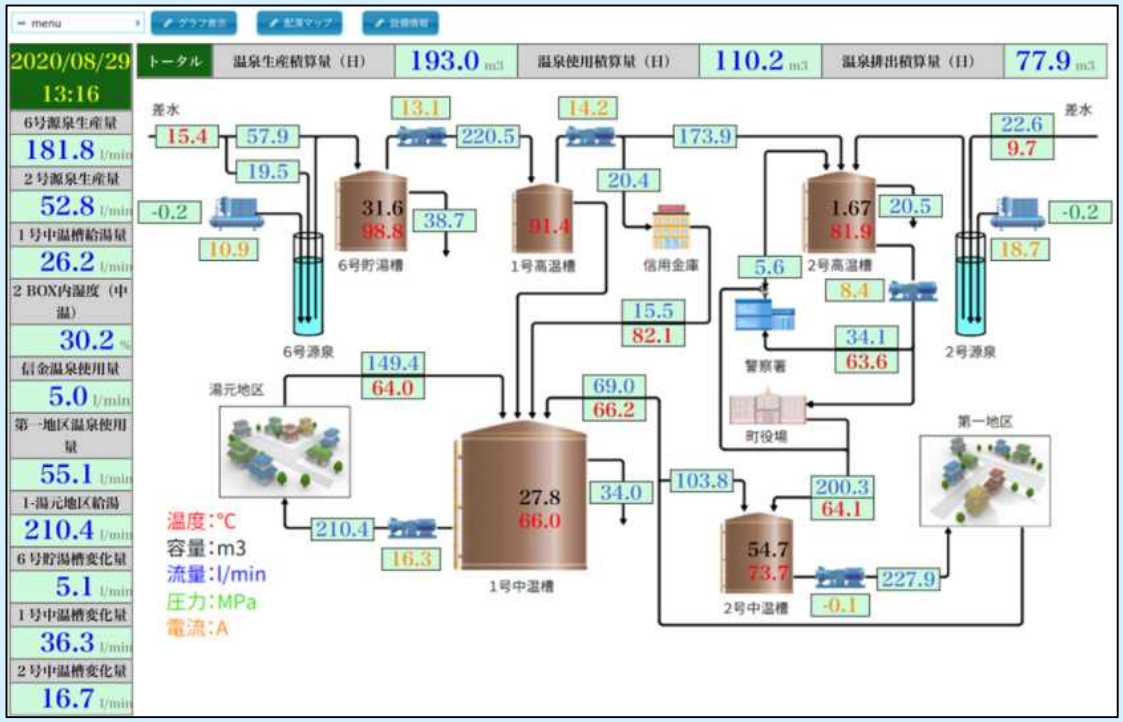
マスタープランの実現に向けて

平成27年度から経済産業省の地熱開発理解促進関連事業補助金を活用し、地域協議会の開催や町民勉強会、先進地の視察の実施、地熱資源に係る文献調査、独立型電源導入の可能性調査などを実施。



マスタープランの実現に向けて

平成29年度から北海道のエネルギー地産地消事業化モデル支援事業を活用し、
地域主導による事業体の立ち上げや市街地におけるバイナリ発電の可能性調査、
効率的な給湯を図るためモニタリング方法の検討などを実施



配湯所等の状況の見える化

市街地での新規坑井掘削
（約1,000m）

ご清聴、ありがとうございました。